

平成26年度

中部地方整備局管内
事業研究発表会

しおり

平成26年6月

国土交通省中部地方整備局

平成26年度 中部地方整備局管内 事業研究発表会

事業研究発表会は、日頃の業務を進める中で、それぞれの創意工夫、業務改善、技術力向上等の研究成果を発表し、聴講並びに議論を通じてさらなる能力開発や業務効率の向上を図る機会とするものです。

また、発表を通じて様々な課題に対して、参加者それぞれの知識や経験に基づき対処方法を考える機会にもなります。

発表会は、個々のさらなる能力開発・勤務意欲の向上に寄与し、組織全体の活性化を図り、もって国土交通行政の効率的な執行を推進します。

発表課題は、イノベーション部門（21題）、安全・安心部門（21題）、アカウンタビリティ部門（16題）、くらし・活力部門（8題）、環境部門（10題）、行政マネジメント部門（19題）の計6部門（95題）の発表を行います。

目 次

プ ロ グ ラ ム	1
論文発表者の留意事項	10
運 営 要 領	11
審 査 要 領	15

平成26年度 中部地方整備局管内 事業研究発表会プログラム

1. 日 時 平成26年7月3日（木）～4日（金）

2. 場 所 第1会場 名古屋合同庁舎第2号館 8階 共用大会議室
第2会場 名古屋合同庁舎第2号館 7階 大会議室
第3会場 名古屋合同庁舎第2号館 4階 共用大会議室
第4会場 名古屋合同庁舎第1号館 11階 大会議室A
第5会場 名古屋合同庁舎第1号館 11階 大会議室B

3. 日 程 「別紙」

4. 発表の進行

◆6部門で、95題を発表（外部機関からの発表14題を含む）

イノベーション部門	第1会場	（発表題数：21題）
安全・安心部門	第2会場	（発表題数：21題）
アカウントビリティー部門	第3会場	（発表題数：16題）
行政マネジメント部門	第4会場	（発表題数：19題）
環境部門	第5会場	（発表題数：10題）
くらし・活力部門	第5会場	（発表題数：8題）

◆1題の時間は20分（発表時間は13分、質疑応答時間は7分）

5. 表彰式（7月25日）

◆発表論文の優秀賞は下記を予定（19題）発表題数の2割程度

イノベーション部門	（4題）
安全・安心部門	（4題）
アカウントビリティー部門	（3題）
行政マネジメント部門	（4題）
環境部門	（2題）
くらし・活力部門	（2題）

別紙

1日目 (7月3日)

第1会場	9:45	10:00	10:40	12:00	13:00	14:00	14:10	15:30	15:40	17:00
	受付準備	開会式	移動・準備	イハ・ソヨ 4題	昼食	イハ・ソヨ 3題	休憩	イハ・ソヨ 4題	休憩	イハ・ソヨ 4題
第2会場	10:20	10:40	12:00	13:00	14:00	14:10	15:30	15:40	17:00	
		受付・準備	安全・安心 4題	昼食	安全・安心 3題	休憩	安全・安心 4題	休憩	安全・安心 4題	閉会
第3会場	10:20	10:40	12:00	13:00	14:00	14:10	15:10	15:20	16:20	
		受付・準備	功効死'リイ 4題	昼食	功効死'リイ 3題	休憩	功効死'リイ 3題	休憩	功効死'リイ 3題	閉会
第4会場	10:20	10:40	12:00	13:00	14:00	14:10	15:30	15:40	17:00	
		受付・準備	行政マ'リ' 4題	昼食	行政マ'リ' 3題	休憩	行政マ'リ' 4題	休憩	行政マ'リ' 4題	閉会
第5会場	10:20	10:40	12:00	13:00	14:00	14:10	15:10	15:40	17:00	
		受付・準備	環境 4題	昼食	環境 3題	休憩	環境 3題	休憩	くらし・活力 4題	閉会

2日目 (7月4日)

第1会場	9:30	10:30	10:40	11:40	12:00	13:00	14:00	14:20	14:50
	受付	イハ・ソヨ 3題	休憩	イハ・ソヨ 3題	休憩	昼食	特別講演	準備	講評
第2会場	9:30	10:30	10:40	11:40					
	受付	安全・安心 3題	休憩	安全・安心 3題	休憩				
第3会場	9:30	10:30							
	受付	功効死'リイ 3題	休憩						
第4会場	9:30	10:50							
	受付	行政マ'リ' 4題	休憩						
第5会場	9:30	10:50							
	受付	くらし・活力 4題	休憩						

審査会（イノベーション部門、安全・安心部門） 2日目（7月4日）発表終了後

審査会	2日目					
		12:30	13:10	13:40	14:10	
		昼食	部門審査会	休憩	審査委員会	

審査会（アカウンタビリティ部門、行政マネジメント部門、暮らし・活力部門） 2日目（7月4日）発表終了後

審査会	2日目					
		11:20	12:00		13:40	14:10
		部門審査会	昼食		審査委員会	

審査会（環境部門） 1日目（7月3日）発表終了後

審査会	1日目			2日目		
	15:10	16:00	16:40		13:40	14:10
	発表終了		部門審査会		審査委員会	

○部門審査会会場

- アカウンタビリティ・・・ 共用4階大会議室
- 行政マネジメント・・・ 道路部8階会議室
- イノベーション・・・ 総務部6階小会議室
- 安全・安心・・・ 河川部4階会議室
- 暮らし・活力・・・ 共用地下1階会議室
- 環境・・・ 総務部6階小会議室

○審査会会場

- 局長中会議室

平成26年度 中部地方整備局管内事業研究発表会
 部門: イノベーション
 会場: 第1会場(名古屋合同庁舎2号館8階共用大会議室)

1日目:平成26年7月3日

番号	題目	所属	役職	氏名	部門
9:15	発表者受付				
9:45	開会式(移動)				
10:40	1 本局の各防災センターにおける大型モニタの更新について	企画部情報通信技術課	情報システム係主任	やましたひとし 山下 仁司	イノベーション
11:00	2 特殊車両自動計測装置の高度化に関する取組	道路部交通対策課	交通対策係主任	おがさわらたかお 小笠原 隆夫	イノベーション
11:20	3 浚渫土の堤防耐震補強工事への有効活用について	庄内川河川事務所 工務課	技官	きたうらもとのり 北浦 元紀	イノベーション
11:40	4 砂防堰堤の改築工事における新規施工時との比較	沼津河川国道事務所 湯ヶ島出張所	技術係長	こいけまさる 小池 優	イノベーション
12:00	昼休み				
13:00	5 危険斜面における3次元レーザー測量の活用と検証	越美山系砂防事務所 揖斐川砂防出張所	技術係長	いとおかゆうすけ 飯岡 祐介	イノベーション
13:20	6 橋梁基礎工における斜杭の設計と施工	岐阜国道事務所 工務課	技官	ふじさわなお 藤澤 奈緒	イノベーション
13:40	7 機動性のある床版の非破壊検査法について	岐阜国道事務所 管理第二課	技官	おがわたつや 小川 達也	イノベーション
14:00	休憩				
14:10	8 八坂IC橋における鋼床版の損傷事例と今後の対策について	浜松河川国道事務所 掛川国道維持出張所	技術係長	しみずひでのり 清水 秀哲	イノベーション
14:30	9 既設PC橋の長寿命化を図る新工法の施工	静岡国道事務所 管理第二課	技官	いしがみえりな 石上 絵梨奈	イノベーション
14:50	10 OSJ工法による流路工施工について	静岡河川事務所 梅ヶ島出張所	出張所長	ささきはじめ 佐々木 元	イノベーション
15:10	11 安倍川総合土砂管理計画に基づく中・下流河川領域での河道制御施設の検討	静岡河川事務所 調査課	調査係長	さかいだいすけ 酒井 大介	イノベーション
15:30	休憩				
15:40	12 河道内の効率的・効果的な樹木管理手法について	木曾川上流河川事務所 揖斐川第二出張所	技術係長	はやせまさのり 早瀬 正格	イノベーション
16:00	13 多自然川づくりの観点を取り入れた設計について	長野県下伊那南部建設事務所 整備課	技師	たかはしまさし 高橋 雅	イノベーション
16:20	14 トンネル完成後の水処理対策	紀勢国道事務所 熊野尾鷲道路出張所	出張所長	ひがしもとあき 東 元昭	イノベーション
16:40	15 天ダム統管におけるダム総合点検について	天竜川ダム総合管理事務所 美和ダム管理支所	管理係長	みはらたけし 三原 武士	イノベーション
17:00	終了				

2日目:平成26年7月4日

番号	題目	所属	役職	氏名	部門
9:15	発表者受付				
9:30	16 100年後も元気な橋をめざして ～新設橋梁に対する長寿命化の取り組み～	道路部道路工事課	技官	まついゆみ 松井 佑美	イノベーション
9:50	17 事業の新しい進め方(名濃バイパスにおける取り組み)	愛知国道事務所 調査課	調査係主任	やまだまきこ 山田 満貴子	イノベーション
10:10	18 深礎杭施工における無人化施工に向けた取り組み	中日本高速道路(株)名古屋支社環境・技術管理部環境・技術チーム	担当	たにもとやすお 谷本 泰雄	イノベーション
10:30	休憩				
10:40	19 ～南海トラフ巨大地震に備える～粘り強く効果を発揮する「高潮防波堤」の改良工事	名古屋港湾事務所 沿岸防災対策室	沿岸防災調査官	もりしたのりあき 森下 倫明	イノベーション
11:00	20 潤滑油診断結果に基づく保全手法の選定とコスト削減の効果	(独)水資源機構 長良川河口堰管理所	機械担当職	とどきこうすけ 戸崎 浩輔	イノベーション
11:20	21 営繕事業におけるBIMを活用した現場監理(施工段階におけるBIMの活用と評価)	静岡営繕事務所技術課	技術係長	きたがわよしふみ 北川 善文	イノベーション
11:40	休憩・昼食				
13:00	特別講演				
14:00	休憩				
14:20	14:50 講評・閉会				

平成26年度 中部地方整備局管内事業研究発表会
 部門： 安全・安心
 会場： 第2会場(名古屋合同庁舎2号館7階大会議室)

1日目:平成26年7月3日

番号	題目	所属	役職	氏名	部門
10:20	発表者受付				
10:40	1 防災拠点のネットワーク形成に向けた検討	企画部防災課	技官	やまぐちゆうすけ 山口 佑介	安全・安心
11:00	2 緊急確保航路の取り組みについて	港湾空港部 港湾空港防災・危機管理課	課長補佐	つかもととしふみ 塚本 敏文	安全・安心
11:20	3 空洞最前線	名古屋市緑政土木局 港土木事務所管理係	技師	こんたけし 今 健	安全・安心
11:40	4 都市用水管からの漏水対応について	(独)水資源機構 木曽川用水総合管理所弥富管理所		わたなべひろゆき 渡部 宏幸	安全・安心
12:00	昼休み				
13:00	5 巨大な岩塊に立ち向かう～国道を全面通行止めでの落石撤去～	高山国道事務所 下呂維持出張所	管理係長	じこうきよし 時耕 清志	安全・安心
13:20	6 南海トラフ地震対策としての由比地区応急対策計画	富士砂防事務所 由比出張所	技術係長	くまきりきょうこ 熊切 恭子	安全・安心
13:40	7 木曽三川下流部における広域避難検討について	木曽川下流河川事務所 調査課	計画係長	なかむらひでとし 中村 英利	安全・安心
14:00	休憩				
14:10	8 安全性向上3カ年計画の取り組みについて	中日本高速道路(株)名古屋支社保 全・サービス事業部企画統括T	サブリーダー	たかまつだいすけ 高松 大輔	安全・安心
14:30	9 管理現場で出会う「ハット」驚く損傷例	飯田国道事務所 飯田維持出張所	技術係長	さくらいともあき 櫻井 智章	安全・安心
14:50	10 土砂動態の観点から考察する木曽川の局所洗掘について	木曽川上流河川事務所 調査課	技官	いとうよしみ 伊藤 嘉	安全・安心
15:10	11 災害対応時の事務官の役割について	中部技術事務所 総務課	総務係長	おおいしまき 大石 真紀	安全・安心
15:30	休憩				
15:40	12 「門島地すべり災害」に対する危機管理	静岡県浜松土木事務所 天竜支局	工事課長	ひろせさとし 廣瀬 聡	安全・安心
16:00	13 海洋の環境と安全を守る海洋環境整備船「白龍」の取組	名古屋港湾事務所 海洋環境・防災課	事業係長	すずきけいすけ 鈴木 啓介	安全・安心
16:20	14 丸山ダムの堤体漏水対策事例について	丸山ダム管理所 電気通信係	技官	こさきけんじ 小崎 健司	安全・安心
16:40	15 地震・津波災害に強いまちづくりに関する支援について～ガイドラインの作成～	建政部都市整備課	街路係長	こまつしげなり 小松 重成	安全・安心
17:00	終了				

2日目:平成26年7月4日

番号	題目	所属	役職	氏名	部門
9:15	発表者受付				
9:30	16 名古屋国道事務所管内の液状化対策検討	名古屋国道事務所 管理第二課	技官	とみたけん 富田 健	安全・安心
9:50	17 中部版くしの歯ルートにおける被害想定手法について	中部技術事務所 地震対策技術課	技術係長	いとうせいじ 伊藤 誠二	安全・安心
10:10	18 五島地区津波避難マウンド	浜松市 土木部 南土木整備事務所	主任	やまもとしょうじ 山本 将司	安全・安心
10:30	休憩				
10:40	19 豪雨による被害とワイヤーセンサーの効果～平成24年度災害業務での体験記録～	三重県桑名建設事務所 事業推進室流域課	主幹	もろおかひろゆき 諸岡 裕幸	安全・安心
11:00	20 高速道路と直轄国道の災害時相互協力のためのダブル光ネットワークの構築	中日本高速道路(株) 名古屋支社豊川工事事務所	施設工事長	ふじたゆういちろう 藤田 友一郎	安全・安心
11:20	21 管理用CCTVビデオ画像を活用した交通安全対策	北勢国道事務所 管理課	管理係長	たにじりかおる 谷尻 薫	安全・安心
11:40	終了				
13:00	特別講演(第1会場)				
14:00	休憩				
14:20	講評・閉会(第1会場)				
14:50					

平成26年度 中部地方整備局管内事業研究発表会
 部門： アカウンタビリティ
 会場： 第3会場(名古屋合同庁舎2号館4階共用大会議室)

1日目:平成26年7月3日

番号	題目	所属	役職	氏名	部門
10:20	発表者受付				
10:40	1 災害時の広報活動の取り組みについて	総務部総務課	広報係長	ささやまよしひろ 笹山 義浩	アカウンタビリティ
11:00	2 地域連携による「100mm/h安心プラン」の取り組み	河川部地域河川課	技官	かせだけんじ 加勢田 賢治	アカウンタビリティ
11:20	3 高速道路交通安全セミナーの取り組み	中日本高速道路(株) 名古屋支社企画調整T	担当	くさかひろき 日下 浩樹	アカウンタビリティ
11:40	4 住民参加による木曾三川公園での取り組み	木曾川下流河川事務所 河川公園課	専門職	ひろせこういち 廣瀬 孝一	アカウンタビリティ
12:00	昼休み				
13:00	5 「妻木砂防遺産のある町さんぽ構想」の策定と評価	多治見砂防国道事務所 砂防調査課	係長	よしだたけし 吉田 武司	アカウンタビリティ
13:20	6 地域と連携して進める雪氷対策について	多治見砂防国道事務所 総務課	総務課長	やましたなおき 山下 直樹	アカウンタビリティ
13:40	7 より効果的な広報資料の作成	長島ダム管理所 電気通信課係	技官	しらいこうめい 白井 宏明	アカウンタビリティ
14:00	休憩				
14:10	8 平成25年度 河津下田道路(Ⅱ期)逆川地区における用地測量・用地買収における工程短縮化の事例紹介	沼津河川国道事務所 用地第二課	用地第一係長	はれやまけいた 晴山 恵多	アカウンタビリティ
14:30	9 東駿河湾環状道路の開通式典における観光支援について	沼津河川国道事務所	建設監督官	みちしたごいち 道下 吾一	アカウンタビリティ
14:50	10 狩野川わくわくクラブの取り組み	沼津河川国道事務所 調査第一課	技官	しばたさとし 柴田 賢	アカウンタビリティ
15:10	休憩				
15:20	11 1号静清バイパス自転車安全利用ワークショップ	静岡国道事務所 交通対策課	交通対策係長	おのだゆたか 小野田 豊	アカウンタビリティ
15:40	12 波瀬川における避難のあり方検討について	三重河川国道事務所 調査第一課	海岸係長	たなかゆうた 田中 祐太	アカウンタビリティ
16:00	13 一般国道42号熊野尾鷲道路の開通について	紀勢国道事務所 調査設計課	調査係主任	きたむらしゅんすけ 北村 俊介	アカウンタビリティ
16:20	終了				

2日目:平成26年7月4日

番号	題目	所属	役職	氏名	部門
9:15	発表者受付				
9:30	14 大学との連携	企画部企画課	施策分析評価係長	かないひろき 金井 宏樹	アカウンタビリティ
9:50	15 中部建設業現場レポートの取り組みについて	建政部建設産業課	資力確保指導係長	かわぐちたかひろ 川口 貴弘	アカウンタビリティ
10:10	16 営繕事業の”旬な現場”への取り組み	営繕部保全指導・監督室	工事係長	まつやまかずひろ 松山 和弘	アカウンタビリティ
10:30	終了				
13:00	特別講演(第1会場)				
14:00	休憩				
14:20	講評・閉会(第1会場)				
14:50					

平成26年度 中部地方整備局管内事業研究発表会
 部門： 行政マネジメント
 会場： 第4会場(名古屋合同庁舎1号館11階大会議室A)

1日目:平成26年7月3日

番号	題目	所属	役職	氏名	部門
10:20	発表者受付				
10:40	1 道路管理の現場力向上について	道路部道路管理課	技官	ごとうりょうすけ 後藤 良輔	行政 マネジメント
11:00	2 相続放棄による相続人不存在の不法占用(住宅)の対応について	河川部水政課	行政第一係長	ごとうひでみつ 後藤 英光	行政 マネジメント
11:20	3 用対連事務局 円滑な連絡体制の構築に向けて	用地部用地企画課	事務官	みおゆうた 三尾 雄太	行政 マネジメント
11:40	4 砂防指定地事務の改善～客観化・効率化に向けて～	天竜川上流河川事務所 砂防調査課	事務官	やまだあつひさ 山田 淳央	行政 マネジメント
12:00	昼休み				
13:00	5 占用物件チェックリストの作成について	木曾川上流河川事務所 木曾川第一出張所	事務係長	ながもとだいき 永本 大樹	行政 マネジメント
13:20	6 情報共有システム(ASP)への取り組み	木曾川上流河川事務所 木曾川第二出張所	技術係長	あさのともや 浅野 智弥	行政 マネジメント
13:40	7 越美山系砂防事務所の広報の取組みについて～クマタカ通信を中心として～	越美山系砂防事務所 揖斐川砂防出張所	事務係長	さかいしゅんすけ 酒井 俊輔	行政 マネジメント
14:00	休憩				
14:10	8 東海環状自動車道不当要求防止対策協議会の設立	岐阜国道事務所経理課	契約指導係長	かしまあきひろ 鹿嶋 章洋	行政 マネジメント
14:30	9 境界未確定地の用地取得に向けたアプローチについて	浜松河川国道事務所 浜松国道維持出張所	事務係長	ともしげひろし 友繁 浩史	行政 マネジメント
14:50	10 地域と連携した自然由来の重金属等への対応について	浜松河川国道事務所 工務第二課	技術審査第一係長	いえきたかゆき 家城 孝幸	行政 マネジメント
15:10	11 引継立会時における統一の見解について	沼津河川国道事務所 御殿場国道維持出張所	事務係長	いずみゆうき 和泉 祐輝	行政 マネジメント
15:30	休憩				
15:40	12 沼津フレッシュニュース発行の効果	沼津河川国道事務所 計画課	計画課長	ふかざわつとむ 深澤 勉	行政 マネジメント
16:00	13 受注者の高い技術力を活用した鋼橋架設工事～詳細設計付き工事発注～	静岡国道事務所 工務課	技官	みやざわとおる 宮澤 徹	行政 マネジメント
16:20	14 設楽ダムにおける取得済み用地の管理について	設楽ダム工事事務所 用地第一課	用地第二係長	いそむらともひろ 磯村 知宏	行政 マネジメント
16:40	15 総合的な治水対策に関する取り組み	岐阜県県土整備部 河川課	技術課長補佐	うのしんや 宇野 真也	行政 マネジメント
17:00	終了				

2日目:平成26年7月4日

番号	題目	所属	役職	氏名	部門
9:15	発表者受付				
9:30	16 道路法における告示業務について	道路部路政課	専門員	あかおたかひで 赤尾 隆秀	行政 マネジメント
9:50	17 土囲が存する境界立会の実施方法	北勢国道事務所 用地第二課	用地係長	こばやしゆうすけ 小林 由祐	行政 マネジメント
10:10	18 業務運営の効率性の向上について	名古屋港湾事務所 品質管理課	事務官	おくたかずき 奥田 和輝	行政 マネジメント
10:30	19 時間軸を考慮したCIMの活用	名四国道事務所 調査課	主任	なかむらひでと 中村 秀人	行政 マネジメント
10:50	終了				
13:00	特別講演(第1会場)				
14:00	休憩				
14:20	講評・閉会				
14:50					

平成26年度 中部地方整備局管内事業研究発表会
 部門： 環境、くらし・活力
 会場： 第5会場(名古屋合同庁舎1号館11階大会議室B)

1日目:平成26年7月3日

番号	題目	所属	役職	氏名	部門
10:20	発表者受付				
10:40	1 庄内川下流部における水質・河床材料と底生動物の時空間分布の把握による河道掘削影響の評価	庄内川河川事務所 調査・品質確保課	技官	ゆあさりょう 湯浅 亮	環境
11:00	2 杭瀬川の緩流域再生について	木曽川上流河川事務所 河川環境課	調査係長	ごとうてつお 後藤 哲男	環境
11:20	3 揖斐川の河川環境をより改善するために～徳山ダムの弾力的な運用を平成25年度より試行的に開始～	木曽川上流河川事務所 流水調査課	低水管理係長	きざわまなぶ 木澤 学	環境
11:40	4 矢作川における樹木伐採と環境団体等の調整について	豊橋河川事務所 管理課	維持係長	うえやまこうじ 上山 浩司	環境
12:00	昼休み				
13:00	5 山・川・海 流域一体の川づくり～矢作川流域圏懇談会～	豊橋河川事務所	建設専門官	まからあきひろ 眞柄 明洋	環境
13:20	6 矢作ダムの濁水対策の実施と評価	矢作ダム管理所	管理係長	あんどこうしょう 安藤 浩照	環境
13:40	7 浚渫土砂を活用した干潟・浅場造成による効果について～海域環境創造事業(シーブルー事業)～	三河港湾事務所 企画調整課	企画調整係長	やなぎはらけいじ 柳原 啓二	環境
14:00	休憩				
14:10	8 海岸堤防改良に伴う松林再生と地域の安心・安全の確保を目指して～地域と共に松林の再生に取り組めます～	四日市港湾事務所 海岸課	沿岸防災調査官	ひらのとしひろ 平野 年洋	環境
14:30	9 時間的・空間的連続観測データによる水質環境変動の検証～活力ある伊勢湾の再生に向けた新たな知見～	名古屋港湾空港技術調査事務所 技術開発課	建設管理官	すみなおこ 鷲見 直子	環境
14:50	10 ホタルの生息環境に配慮した河床掘削工法の取り組み	岐阜県大垣土木事務所 河川砂防課	河川係技術主査	さかいだたかし 坂井田 崇	環境
15:10	休憩				
15:40	1 浜名湖SAの交通結節点機能拡充の取り組み	浜松河川国道事務所 調査第二課	調査係長	しばたひでふみ 柴田 秀史	くらし・活力
16:00	2 自治体との連携の仕方:自転車道整備を例に	岐阜国道事務所 交通対策課	技官	なかのけいた 中野 敬太	くらし・活力
16:20	3 道の駅を活用した情報発信について	沼津河川国道事務所 調査第二課	調査係長	かとうまさし 加藤 真嗣	くらし・活力
16:40	4 「かのがわ風のテラス」～狩野川における河川空間のオープン化～	沼津河川国道事務所 河川管理課	河川管理係長	みよしやすひろ 三好 康寛	くらし・活力
17:00	終了				

2日目:平成26年7月4日

番号	題目	所属	役職	氏名	部門
9:15	発表者受付				
9:30	5 中京都市圏パーソントリップ調査	企画部広域計画課	幹線道路調査長	かじはらゆうじ 梶原 裕二	くらし・活力
9:50	6 式年遷宮における交通需要マネジメント連携実施について	三重河川国道事務所 調査第二課	調査係長	さかいのぶゆき 阪井 宣行	くらし・活力
10:10	7 地域産業を支える国際物流ターミナルの整備について～田子の浦港国際物流ターミナル整備事業～	清水港湾事務所 企画調整課	企画調整係長	あかまつよしかず 赤松 義一	くらし・活力
10:30	8 (市)三ヶ日大崎神田口号線改良工事について	浜松市土木部 北土木整備事務所	一般職員	かわいひかる 河合 輝	くらし・活力
10:50	休憩・昼食				
13:00	特別講演(第1会場)				
14:00	休憩				
14:20	講評・閉会				
14:50					

平成26年度 中部地方整備局管内事業研究発表会

2日目:平成26年7月4日

番号	題目	会場
11:40	休憩・昼食	
12:30	部門審査会	アカウンタビリティー … 共用4階大会議室 行政マネジメント … 道路部8階会議室 イノベーション … 総務部6階小会議室 安全・安心 … 河川部4階会議室 くらし・活力 … 共用地下1階会議室 環境 … 総務部6階小会議室
13:10	休憩	
13:40	審査会	局長中会議室
14:10	休憩	
14:20	講評・閉会	名古屋合同庁舎2号館8階共用大会議室
14:50		

論文発表者の留意事項

1. 発表会場における発表者受付及び使用機器動作確認について

発表者は、次の時間帯に会場にて受付を行って下さい。

●発表者受付（発表者全員）

第1日目：7月3日（木）

※第1会場

午前の発表者 …… 9：15～9：45 各部門発表会場前

※第2～第5会場

午前の発表者 …… 10：20～10：40 各部門発表会場前

※全ての会場

午後の発表者 …… 12：20～12：50 各部門発表会場前

第2日目：7月4日（金）※全ての会場

午前の発表者 …… 9：15～ 9：30 各部門発表会場前

使用機器（パワーポイント等）の動作確認希望者は、次の時間帯に確認することができます。

●動作確認

各会場共通

受付時間と同じ

2. 発表時間（1課題当り）

- ・発表論文及び発表者の紹介
- ・論文発表（正味） 13 分
- ・質 疑 応 答 約7分

3. 発表時の合図

発表終了3分前にベル1回、1分前にベル2回、13分経過時にベル3回鳴らします。

4. その他

- (1) 発表審査は、評定要領に基づき行われますので発表者は内容を熟読しておいてください。
- (2) 質疑応答については、司会者の指示に従ってください。
- (3) 表彰式については、7月25日（金）に実施します。優秀賞の方につきましては、別途依頼をしますのでご出席願います。

中部地方整備局管内事業研究発表会

運 営 要 領

『中部地方整備局管内事業研究発表会』（以下「事業研究発表会」という。）の円滑な運営を図るため、次のとおり運営要領を定める。

1. 目的

事業研究発表会は、業務に関する創意工夫、業務改善及び技術力向上等の研究成果を発表し、聴講ならびに議論を通じて更なる能力開発や業務効率の向上を図ることを目的とする。

2. 運営委員会の設置

運営委員会は次の者をもって構成する。

代表委員	総括調整官
代表委員	技術調整管理官
委 員	都市整備課長
委 員	河川計画課長
委 員	道路計画課長
委 員	計画課長
委 員	用地企画課長
委 員	各部門の部会長
	主任監査官（アカウントビリティ部門）
	技術開発調整官（イノベーション部門）
	情報通信技術調整官（安全・安心部門）
	港湾物流企画室長（くらし・活力部門）
	環境調整官（環境部門）
	総務企画官（行政マネジメント部門）
事務局委員	総務課長
事務局委員	技術管理課長
事務局委員	港湾空港整備・補償課長

代表委員は、必要があると認めるときは、上記に掲げる者以外の者の出席を求めることができる。

3. 事業研究発表会の構成

事業研究発表会は、6部門をもって構成する。

(1) アカウンタビリティ部門

公共事業の各実施段階を、国民に対して更に説明性の高いものへ改善を図ること、同時に幅広く分かりやすく情報を積極的に国民に提供していくことの実現に向けた取り組みのうち、特に、国民に対して直接働きかける取り組み事例について、単なる事例報告ではなく、国土交通行政と国民の「生活」との距離をいかに詰めていくかという視点からの報告

例)

- ・事業評価への取り組み
- ・地域とのコミュニケーション活動、P I（パブリックインボルブメント）活動等への取り組み
- ・各種広報活動への取り組み 等

(2) イノベーション部門

社会資本の整備に当たり、建設コストの縮減、安全・安心の確保、環境保全等、諸問題の解決に資する、官・民間等で開発された優れた技術を公共事業において積極的に活用した事例等イノベーションに資する技術や取り組み（建設マネジメント等に関する取り組みを含む）

例)

- ・入札契約における試行的取り組み(現場条件にあった技術提案とその評価方法等)
- ・監督・検査の合理化（工事書類の簡素化、施工管理の効率化等）
- ・新技術・新工法への取り組み
- ・コスト縮減への取り組み
- ・事業の懸案事項について先進的な技術や手法を用いた取り組み
- ・PM（プロジェクトマネジメント）の取り組み 等

(3) 安全・安心部門

安全・安心な社会に向けた取り組み

例)

- ・災害時への備えが万全な防災先進社会の実現に関する取り組み
- ・大規模事故ゼロ社会の実現に関する取り組み
- ・安全な道路交通社会の実現に関する取り組み
- ・災害に強い地域づくり（風水害、地震対策等への取り組み）
- ・業務における安全・危機管理への取り組み
- ・BCP（事業継続計画）への取り組み
- ・被災時における対応（TEC-FORCE等）に関する取り組み 等

(4) くらし・活力部門

誰もが生き生きと暮らせる社会に向けた取り組み及び国際競争力を支える活力

ある社会に向けた取り組み

例)

- ・地域公共交通の活性化・再生による活力ある地域の実現に関する取り組み
- ・多様な住まいやライフスタイルを可能とする社会の実現に関する取り組み
- ・地域づくりのための施策にかかる創意工夫
- ・地域資源を活かした取り組み
- ・住宅・社会資本の整備・管理が効率化、高度化された社会の実現に関する取り組み
- ・効率的、安全で環境に優しい物流の実現に関する取り組み
- ・海洋・海事立国の実現に関する取り組み
- ・産業競争力を高める基盤整備への取り組み 等

(5) 環境部門

環境と調和した社会に向けた取り組み

例)

- ・省エネ、低公害、循環型社会の実現に関する取り組み
- ・美しく快適な都市の実現に関する取り組み
- ・健全な水環境と生態系を保全する自然共存型社会の実現に関する取り組み
- ・環境負荷の軽減等、環境対策に関する取り組み 等

(6) 行政マネジメント部門

行政を効率的・効果的に遂行するためのマネジメントの取り組み

例)

- ・業務改善、効率化への取り組み
- ・迅速な用地取得への取り組み
- ・事業の品質向上に関する取り組み
- ・用地買収後の生活再建に関する取り組み 等

4. 発表論文の選定等

発表論文は、提出された論文概要書をもって、運営委員会が決定する。

5. 発表時間は、質疑時間及び移動時間を含め一題20分とする。

(発表時間13分、質疑応答等時間7分)

6. 発表論文審査等

(1) 事業研究発表会の審査及び表彰は「中部地方整備局管内事業研究発表会審査要領」

に基づき行うものとする。

(2) 審査委員は、発表論文の審査並びに国土交通省国土技術研究会等への推薦論文の選定を行う。なお、国土交通省国土技術研究会への推薦論文は以下の5部門から推薦するものとし、技官の発表者とする。

- ・ アカウンタビリティ部門
- ・ イノベーション部門
- ・ 安全・安心部門
- ・ くらし・活力部門
- ・ 環境部門

(3) 審査結果について、原則、論文発表者全員に対し、評価通知を送付する。

7. 事務局

事業研究発表会を円滑に運営する為、事務局を総務部総務課、企画部技術管理課及び港湾空港部港湾空港整備・補償課に事務局を置くこととする。

8. その他

(1) 中部地方整備局管内事業研究発表会は、原則として年1回開催する。

(2) この要領に定めのない事項は、運営委員会が定める。

(平成 21 年 1 月 23 日改正)

(平成 23 年 12 月 26 日改正)

(平成 25 年 3 月 1 日改正)

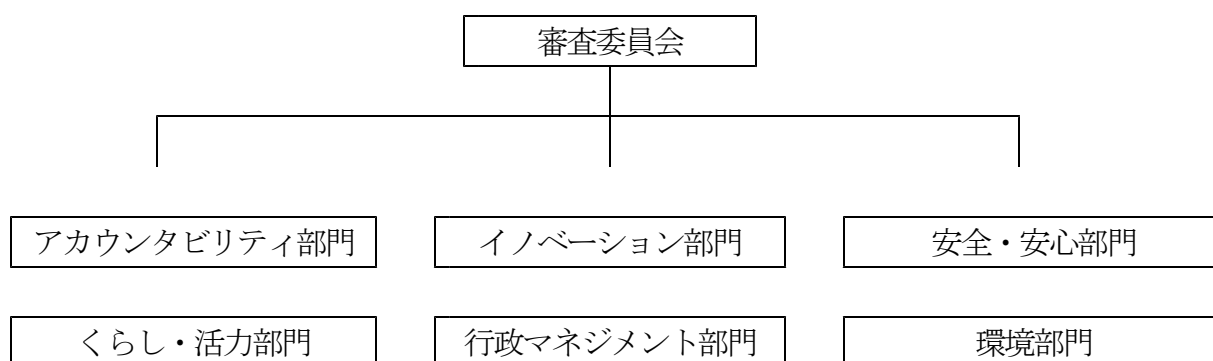
(平成 25 年 12 月 13 日改正)

平成26年度 中部地方整備局管内事業研究発表会

審査要領

中部地方整備局管内事業研究発表会運営要領6の(1)により、平成26年度の審査要領を下記のとおり定める。

1. 審査は、審査委員会並びに各部門において行うものとする。
本審査要領は、公正かつ迅速な審査を行うことを目的とする。



2. 審査委員会

(1) 審査委員会の構成は次のとおりとする。

委員長	企画部長
副委員長	総括調整官
副委員長	技術調整管理官
審査委員	企画調整官
	各部門の部会長
	中部技術事務所長
	名古屋港湾空港技術調査事務所長

(2) 審査委員会において、各部門の優秀賞及び国土技術研究会推薦課題を決定する

(3) 審査委員会は各部門審査会終了後に開催する。

(4) 副委員長は委員長を補佐する

(5) 審査委員会の司会は、副委員長(技術調整管理官)が行う。

3. 部門

部門の構成は次のとおりとする。

(1) アカウンタビリティ部門

部会長	主任監査官
委員	企画部 企画課長
	河川部 河川計画課長
	道路部 道路計画課長
	港湾空港部 港湾計画課長
	<u>丸山ダム管理所長</u>

(2) イノベーション部門

部会長	技術開発調整官
委員	企画部 施工企画課長
	河川部 河川工事課長
	道路部 道路工事課長
	港湾空港部 港湾事業企画課長
	<u>静岡営繕事務所長</u>

(3) 安全・安心部門

部会長	情報通信技術調整官
委員	企画部 防災課長
	道路部 道路管理課長
	河川部 河川管理課長
	港湾空港部 防災・危機管理課長
	<u>浜松河川国道事務所長</u>

(4) くらし・活力部門

部会長	港湾物流企画室長
委員	建政部 都市整備課長
	河川部 地域河川課長
	道路部 地域道路課長
	営繕部 計画課長
	<u>愛知国道事務所長</u>

(5) 環境部門

部会長	環境調整官
委員	河川部 河川環境課長
	道路部 計画調整課長

営繕部 調整課長
港湾空港部 海洋環境・技術課長
四日市港湾事務所長

(6) 行政マネジメント部門

部会長 総務企画官
委員 総務部 会計課長
企画部 広域計画課長
用地部 用地企画課長
建政部 計画管理課長
三峰川総合開発工事事務所長

1) 部会長は、部門を総括し、部門審査の司会及び表彰式における講評を行う。

4. 論文の発表

- (1) 発表時間は、1題13分とする。
- (2) 討論の時間は、1題あたり移動時間を含めて7分とする。
- (3) 発表者の紹介及び討論の司会は、幹事が行う。
- (4) 発表時間の合図は、発表終了3分前に1回、1分前に2回、13分経過時に3回にベルを鳴らす

5. 優秀論文の審査

審査は、基本的に論文審査と発表審査（プレゼンテーション力）により行う。

(1) 論文審査

審査は、論文から有効な知見が得られているかどうかという点に配慮し、「着眼点・獨創性」、「現状の分析力」、「有用性」、「表現力」の4つの評価項目について、5段階（5、4、3（普通）、2、1）にて審査を行う。

(2) 発表審査（プレゼンテーション力）

審査は、「発表態度」、「内容の理解度・表現性」、「創意工夫」、「質疑応答力」の4つの評価項目について、発表時に5段階（5、4、3（普通）、2、1）にて審査を行う。
規定の発表時間を超過した場合は減点を行う。

- (3) 5段階で評価した評点に対し、別紙評定要領の配点に従い重みを乗じて集計し、100点満点とする。

6. 優秀論文の決定

- (1) 各部門において評定点を参考に優秀賞候補を2割程度推薦する。
- (2) 各部長は、審査委員会において優秀賞候補の推薦理由の説明を行う。
- (3) 審査委員会は、推薦理由を参考に各部門から推薦のあった論文から優秀賞を選定し決定する。
- (4) 審査・優秀賞候補の対象は関係機関を含めた全課題発表者とする。

7. 「国土交通省国土技術研究会」への推薦論文の決定

- (1) 推薦論文は原則として発表論文の中から選定する。
- (2) 各部門において推薦論文を1題程度選定し、審査委員会に推薦する。
なお、推薦論文の発表者は、技官とする。
- (3) 審査委員会委員により「国土交通省国土技術研究会（自由課題）」への推薦論文を決定する。推薦数は募集要領に合わせるものとする。
 - ・アカウントビリティ部門（1題程度）
 - ・イノベーション部門（1題程度）
 - ・一般部門（2題程度）

※一般部門は、安全・安心部門、くらし・活力部門、環境部門、
- (4) 推薦論文の選定は、部門及び審査委員会で優秀論文審査に引き続き、行うものとする。
- (5) 推薦対象は、地方自治体を含めないものとする。

(平成21年3月24日改正)
(平成22年6月25日改正)
(平成23年1月25日改正)
(平成24年3月 2日改正)
(平成25年6月17日改正)
(平成26年3月 6日改正)
(平成26年6月 5日改正)

発表部門

アカウンタビリティ部門

公共事業の各実施段階を、国民に対して更に説明性の高いものへ改善を図ること、同時に幅広く分かりやすく情報を積極的に国民に提供していくことの実現に向けた取り組みのうち、特に、国民に対して直接働きかける取り組み事例について、単なる事例報告ではなく、国土交通行政と国民の「生活」との距離をいかに詰めていくかという視点からの報告

例)

- ・事業評価への取り組み
- ・地域とのコミュニケーション活動、P I（パブリックインボルブメント）活動等への取り組み
- ・各種広報活動への取り組み 等

イノベーション部門

社会資本の整備に当たり、建設コストの縮減、安全・安心の確保、環境保全等、諸問題の解決に資する、官・民間等で開発された優れた技術を公共事業において積極的に活用した事例、建設生産性向上（入札・契約の工夫、新技術の活用、監督・検査の合理化等）等イノベーションに資する技術や取り組み（建設マネジメント等に関する取り組みを含む）

例)

- ・入札契約における試行的取り組み（現場条件にあった技術提案とその評価方法等）
- ・監督・検査の合理化（工事書類の簡素化、施工管理の効率化等）
- ・新技術・新工法への取り組み
- ・コスト縮減への取り組み
- ・事業の懸案事項について先進的な技術や手法を用いた取り組み
- ・PM（プロジェクトマネジメント）の取り組み 等

安全・安心部門

安全・安心な社会に向けた取り組み

例)

- ・災害時への備えが万全な防災先進社会の実現に関する取り組み
- ・大規模事故ゼロ社会の実現に関する取り組み
- ・安全な道路交通社会の実現に関する取り組み
- ・災害に強い地域づくり（風水害、地震対策等への取り組み）
- ・業務における安全・危機管理への取り組み
- ・BCP（事業継続計画）への取り組み
- ・被災時における対応（TEC-FORCE等）に関する取り組み 等

くらし・活力部門

誰もが生き生きと暮らせる社会に向けた取り組み及び国際競争力を支える活力ある社会に向けた取り組み

例)

- ・ユニバーサル社会の実現
- ・地域公共交通の活性化・再生による活力ある地域の実現に関する取り組み
- ・多様な住まいやライフスタイルを可能とする社会の実現に関する取り組み
- ・地域づくりのための施策にかかる創意工夫
- ・地域資源を活かした取り組み
- ・住宅・社会資本の整備・管理が効率化、高度化された社会の実現に関する取り組み
- ・効率的、安全で環境に優しい物流の実現に関する取り組み
- ・海洋・海事立国の実現に関する取り組み
- ・産業競争力を高める基盤整備への取り組み 等

環境部門

環境と調和した社会に向けた取り組み

例)

- ・省エネ、低公害、循環型社会の実現に関する取り組み
- ・美しく快適な都市の実現に関する取り組み
- ・健全な水環境と生態系を保全する自然共存型社会の実現に関する取り組み
- ・環境負荷の軽減等、環境対策に関する取り組み 等

行政マネジメント部門

行政を効率的・効果的に遂行するためのマネジメントの取り組み

例)

- ・業務改善、効率化への取り組み
- ・迅速な用地取得への取り組み
- ・事業の品質向上に関する取り組み
- ・用地買収後の生活再建に関する取り組み 等

評 定 要 領

◇ 評価項目 ◇	◇ 評価の考え方 ◇	採点方法	
論 文 審 査	< 着眼点・独創性 > 【配点: 15点/100点】	<ul style="list-style-type: none"> ・政策的(業務遂行上)観点から見て重要な課題を選定しているか(課題としての話題性はあるか) ・オリジナリティー ・課題解決(業務遂行)に当たっての技術的な(業務改善に)創意工夫や独創性があるか 	【5段階評価】 5: 良い 4: やや良い 3: 普通 2: やや悪い 1: 悪い 評価点に倍率を乗じて集計
	< 現状分析力 > 【配点: 15点/100点】	<ul style="list-style-type: none"> ・課題やニーズが発生した背景を的確に認識しているか ・説明用及び根拠として適切なデータ等の収集がなされ、収集されたデータ等を分析、的確に把握しているか 	
	< 有用性 > 【配点: 10点/100点】	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対応した的確な成果となっているか ・今後発生する問題・課題に対する指針となるなど、汎用性のある成果であるか 	
	< 表現力 > 【配点: 10点/100点】	<ul style="list-style-type: none"> ・起承転結に則った的確な構成となっているか ・適切な表現(用語・図表)が用いられているか ・専門的すぎず、分かり易い明快な記述(誤字・脱字はないか)となっているか ・発表者自身の考えが記述されているか 	
	《 小計 50点 》		
発 表 審 査	< 発表態度 > 【配点: 10点/100点】	<ul style="list-style-type: none"> ・発表姿勢(原稿棒読みではないか、声の大きさ、説明の速さ、態度等) 	規定の発表時間を基準に残時間に応じて減点を行う。 遅滞(分) 減点 ~± 1 ... 0 ~± 2 ... -1 ~± 3 ... -2 ~- 3 ... -3 3分を超過...-5
	< 理解度・表現性 > 【配点: 15点/100点】	<ul style="list-style-type: none"> ・内容を自ら理解し、ポイントを押さえた分かり易い説明(理解できる言葉)が出来ているか 	
	< 創意工夫 > 【配点: 10点/100点】	<ul style="list-style-type: none"> ・見せ方の創意工夫がなされているか 	
	< 質疑応答力 > 【配点: 15点/100点】	<ul style="list-style-type: none"> ・質疑に対し、的確な応答をしているか 	
	《 小計 50点 》		
《 合計 100点 》			